

平成24年度事業報告書

平成25年6月

一般財団法人 関西情報センター

目 次

一. 概 況	1
二. 総務事項	1
三. 事 業	5
<u>I. 調査研究、普及・啓発事業</u>	5
＜情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業＞	
1. 中堅企業・自治体の IT 経営力強化に資する IT 人材育成等に関する調査 －e-Kansai レポート－	5
＜情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業＞	
2. 持続可能な社会の実現にむけた ICT の役割に関するシンポジウム	5
3. IT 戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー(第 8 回～第 12 回)	6
4. 関西 CIO カンファレンス	8
<u>II. ビジネス・政策支援事業</u>	10
1. 情報家電ビジネスパートナーズ(DCP: Digital Concept Partners)	10
2. 個人情報保護関連人材の育成	12
3. ICT ビジネスソリューションセミナー	13
4. e - 相談所	14
5. テクニカルライターの会	15
6. ワンストップサービス支援	16
7. 地方シンクタンク協議会	16
8. 各種受託調査・研究事業	17
9. 国・自治体・企業等における産業振興プロジェクトの受託	18
10. 災害情報共有システム事業	20
<u>III. 情報ネットワーク関連事業</u>	21
1. 情報セキュリティシステム構築支援事業(セキュアサポートサービス)	21
2. 施設予約システム ASP 事業(ESPAL/OPAS)	21
3. ネットワーク基盤整備支援事業	21

<u>IV. 社会システム支援事業</u>	21
＜社会保健・福祉サービスソリューション＞	
1. 健康保険組合のシステム開発・運用事業	21
2. インターネットサービス事業	22
3. 総合健康管理ソリューションの開発・提供事業	22
＜企業・団体向けシステム開発ソリューション＞	
4. 各種システム開発ソリューション	22
<u>V. 情報化社会基盤整備事業</u>	22
1. プライバシーマークの審査、認定	22
<u>VI. 特定寄付</u>	23
<u>VII. 広報・交流活動事業</u>	23
1. 機関誌「KIIS」の刊行	23
2. KIIS フォーラム（事業成果報告会）	23
3. 新春合同賀詞交歓会	24
4. KIIS メールマガジン・ホームページ	24

一. 概 況

平成 24 年度 4 月は、一般財団法人への移行と共に、名称を「一般財団法人関西情報センター」へと変更し、登記申請を完了した。

理事 10 名、監事 2 名、評議員 9 名の新しい体制で運営され、会長の諮問機関としての政策委員会は、20 社の委員及び副委員の体制に拡大した。

また、公益目的支出計画に従い、大阪府及び大阪市への特定寄付を実施した。

二. 総務事項

1. 一般財団法人への移行

平成 24 年 3 月 23 日付で、内閣総理大臣より一般財団法人への移行認可があり、法人名称を「一般財団法人関西情報センター」に変更し、平成 24 年 4 月 1 日付けで移行登記を行った。

2. 役員の異動

当期における役員の異動は、次のとおりである。

年月日	就 任	退 任
H24.4.1	代表理事 森下 俊三	
	代表理事 山寄 修一郎	
	理 事 荒井 喜代志	
	理 事 綾部 雅之	
	理 事 稲田 浩二	
	理 事 篠崎 光	
	理 事 奈良橋 三郎	
	理 事 廣野 俊弥	
	理 事 深野 二郎	
	理 事 藤川 正規	
	監 事 西 亨	
H24.4.2	会 長 森下 俊三	
	専務理事 山寄 修一郎	
	常務理事 荒井 喜代志	
	担当理事 篠崎 光	
	担当理事 深野 二郎	
H24.4.12	代表理事 田中 行男	山寄 修一郎
	常務理事 篠崎 光	荒井 喜代志
	監 事 廣瀬 茂夫	
H24.6.19	担当理事 竹中 篤	

3. 評議員の異動

当期における評議員の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
H24.4.1	浅井 加寿彦 江川 博 奥田 耕二 鴨井 功 岸野 文郎 下條 真司 東松 孝臣 灘本 正博 廣瀬 雄二郎	

4. 賛助会員

賛助会員は、入会 6 社、退会 9 社となり、平成 24 年度末会員数は、186 社となった。

5. 理事会

(1) 第 1 回臨時理事会

開催日 平成 24 年 4 月 2 日

- 議案
- ・会長（代表理事）、専務理事（代表理事）、常務理事（業務執行理事）、担当理事（業務執行理事）の選定の件(承認)
 - ・補欠理事候補の推薦の件(承認)
 - ・監事候補の推薦の件(承認)
 - ・基本財産の件（承認）
 - ・平成 24 年度事業計画および予算の件(承認)
 - ・短期借入金限度額の件(承認)
 - ・各規則・規程の制定・変更の件(承認)
 - ・評議員会の開催の件(承認)

(2) 第 2 回臨時理事会

開催日 平成 24 年 4 月 12 日

- 議案
- ・専務理事（代表理事）の選定の件(承認)
 - ・常務理事の選定の件(承認)
 - ・退任理事に対する役員退職慰労金支給の件(承認)
 - ・理事候補の公募の件(承認)

(3) 第3回臨時理事会

- 開催日 平成24年6月7日
- 議案
- ・平成23年度事業報告の承認の件(承認)
 - ・平成23年度計算書類等の承認の件(承認)
 - ・役員候補推薦の件(承認)
 - ・特定寄付の実施の件(承認)
 - ・定時評議員会の開催の件(承認)
- 報告
- ・業務執行報告の件

(4) 第4回臨時理事会

- 開催日 平成24年6月19日
- 議案
- ・業務執行理事(担当理事)の選定の件(承認)
 - ・関西グリーン電力基金残余財産の寄付の件(承認)

(5) 第5回定時理事会

- 開催日 平成24年11月20日
- 議案
- ・組織改正の実施の件(承認)
 - ・賛助会員規程の改正の件(承認)
- 報告
- ・業務執行報告の件

(6) 第6回定時理事会

- 開催日 平成25年3月25日
- 議案
- ・平成25年度事業計画および予算の件(承認)
 - ・組織改正の件(承認)
- 報告
- ・業務執行報告の件

6. 評議員会

(1) 第1回臨時評議員会

- 開催日 平成24年4月12日
- 議案
- ・補欠理事の選任の件(承認)
 - ・監事の選任の件(承認)
 - ・役員の報酬等の額の件(承認)
 - ・資産運用規程(変更)の件(承認)

- ・退任理事に対する役員退職慰労金支給の件(承認)
- 報 告 ・平成 24 年度事業計画及び予算の内容報告の件
- ・基本財産の報告の件

(2) 第 2 回定時評議員会

- 開催日 平成 24 年 6 月 19 日
- 議 案 ・平成 23 年度計算書類等の承認の件(承認)
- ・理事の選任の件(承認)
- ・公益目的支出計画に基づく特定寄付の実施の件(承認)
- 報 告 ・平成 23 年度事業報告の件

7. 政策委員会

(1)第 69 回委員会 (平成 24 年 6 月 1 日)

- 議 事 ・法人移行のご報告について
- ・平成 23 年度事業報告について
- ・平成 23 年度決算について
- ・業務執行報告について

(2)第 70 回委員会 (平成 24 年 11 月 6 日)

- 講 話 I 近畿経済産業局長 小林 利典 氏
「関西の産業活性化へ向けて」
- 講 話 II 大阪大学 サイバーメディアセンター 教授 下條 真司 氏
「うめきたに期待する関西の活性化」
- 議 事 ・委員の交替について
- ・平成 24 年度事業中間報告について
- ・組織改正について
- ・賛助会員制度の見直しについて

(3)第 71 回委員会 (平成 25 年 3 月 7 日)

- 議 事 ・平成 25 年度事業活動報告について
- ・平成 25 年度事業計画と予算について
- ・組織改正について
- ・政策委員の再任について

8. 職 員

職員は、新規採用 2 名 退職 3 名、出向採用 2 名、出向退職 2 名の異動があり、3 月末においては、30 名である。

三. 事 業

I. 調査研究、普及・啓発事業

<情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

1. 中堅企業・自治体の IT 経営力強化に資する IT 人材育成等に関する調査

—e-Kansai レポート—

関西地域における情報化の動向を多角的に捉え分析し、課題解決に向けた提案を行うことを目的とし、調査研究事業「e-Kansai レポート 2013」を実施した。調査にあたっては賛助会員、国・自治体による編集委員会を構成（主査：神戸大学大学院・原田教授）し、経年調査結果も踏まえつつ、アンケート・ヒアリング等調査内容を検討吟味し実施した（委員会は計 3 回実施）。

平成 23 年度からの 3 ヶ年は、「クラウド・コンピューティングの活用」「IT 人材のキャリアパス」をテーマに、企業及び自治体における様々な課題やニーズを調査し、課題解決や経営力強化に向けた施策提案を行うこととしており、平成 24 年度はその中間年度である。クラウド・コンピューティングについては、前年度調査で得られた企業・自治体ニーズを踏まえ、ベンダによる効果的な提案等について整理した。また IT 人材育成については、個々の企業の現状等を踏まえ、モデル的なキャリアパスの例を提示した。

<情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

2. 持続可能な社会の実現にむけた ICT の役割に関するシンポジウム

—インフォテック 2012—

関西電力（株）経営改革・IT 本部 稲田副本部長を委員長に、大阪大学サイバーメディアセンター長 中野教授をコーディネータに迎え、賛助会員、国・自治体等 34 名で企画運営委員会を構成し、インフォテック 2012 の企画及び運営案について議論するため、計 2 回の委員会を開催した。

10 月 1 日には、シンポジウムを開催し、情報・通信分野における大きな潮流の一つとして、スマートフォンやタブレット端末などに付いているセンサーやソーシャル・メディアから得られる膨大でかつリアルタイムなデータをビジネスに活用する動きが始まっていることや、これらのビッグデータを、資源として有効に活用することで競争の中で勝ち残るための新たなビジネス戦略について、講演やパネルディスカッションを実施した。また、シンポジウム終了後 12 月に第 3 回企画運営委員会を開催し、成果と反省点、今後の課題について話し合った。

1. テーマ：「ビッグデータを有効活用する新たなビジネス戦略」

～情報爆発時代を勝ち抜くために知っておくべきビッグデータの“光”と“影”～

2. 日 時：平成 24 年 10 月 1 日（月）10:00～17:00（17:10～19:00 交流会）

3. 会 場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）12F 特別会議場

4. 内 容 :

- (1) 基調講演「ビッグデータ時代の戦略」
東京大学 生産技術研究所 教授 喜連川 優 氏
- (2) 招待講演1「ビッグデータのビジネス利活用とその技術」
株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部
事業統括本部 企画本部 担当本部長 三木 良雄 氏
- (3) 招待講演2「楽天のデータ分析とビジネスへの活用」
～スーパーDB、大規模データ活用のご紹介と見えてきた課題と可能性～
楽天株式会社 グループ・コア・サービス部 部長 景山 均 氏
- (4) パネルディスカッション
テーマ：「ビッグデータを活用する新たなビジネス戦略」
～情報爆発時代を勝ち抜くために知っておくべきビッグデータの“光”と“影”～
コーディネータ：大阪大学 サイバーメディアセンター長 教授 中野 博隆 氏
パネリスト：
ディー・フォー・ディー・アール株式会社 藤元 健太郎 氏
日本アイ・ビー・エム株式会社 塚本 眞一 氏
楽天株式会社 景山 均 氏
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社 井上 幸則 氏

5. 参加者：191名

3. IT戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー

厳しい経済情勢の中で企業や自治体における IT 戦略再構築に資するために、情報化部門のビジネス・イノベーションにつながる社会動向や最新の技術動向等を提供するセミナーを開催した。

■第8回 AR（拡張現実）技術のビジネス可能性

～急成長する新技術の現在と将来～

日 時：平成24年6月6日（水） 13:30～16:15

場 所：一般財団法人関西情報センター

講 演：拡張現実感の産業応用の可能性

講 師：京都大学大学院エネルギー科学研究科

エネルギー社会・環境科学専攻 助教 石井 裕剛 氏

他講演2件

参加者：33名（定員40名）

■第9回 IT×ヘルスケアに関する政策・市場動向

～スマートヘルスケアシティの実現と新産業創出に向けて～

日 時：2012年11月28日（水） 14:00～16:45

場 所：A P大阪駅前梅田1丁目 APホールⅡ

参加者：82名（講師・関係者12名含む）

プログラム：

講 演1「情報通信産業の5つのミッシングリンク」

講 師：総務省 大臣官房審議官（情報流通行政局担当）谷脇 康彦 氏

講 演2「デジタルヘルスを産業に」

講 師：日経BP社 日経エレクトロニクス・日経デジタルヘルス online 編集
記者 小谷 卓也 氏

事業説明「スマートヘルスケアシティ推進プロジェクトのご紹介」

講 師：KIIS 事業推進グループ 石橋 裕基

■第10回 プロセス改善推進者育成セミナー～プロセス改善概説と改善ツール体験～

日 時：平成24年12月12日（水） 13:30～17:30

場 所：一般財団法人関西情報センター

共 催：独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター

参加者：33名（講師・関係者8名含む）

プログラム：

1. プロセス改善とは
2. プロセス改善におけるツール概要
3. スピナッチキューブ演習（ツール体験）

講 師：

穴田 直也 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）

株式会社大和コンピューター コンサルティング部 マネージャー

安倍 秀二 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）

パナソニック株式会社 デバイス社 開発統括センター 技術統括部
機能安全推進チーム チームリーダー

安達 賢二 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）

株式会社HBA 経営管理本部 本部付 エキスパート

阪本 太志 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）

東芝デジタルメディアエンジニアリング株式会社 ソフトウェアセンター
シニアエンジニア

■第11回 プロセス改善推進者育成セミナー～SPINA³CH（スピナッチキューブ）自律改善
メソッドの導入と効果的活用ワークショップ～

日 時：平成24年12月13日（木） 10:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

共 催：独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター

参加者：18名（講師・関係者7名含む）

プログラム：

1. SPINA³CH（スピナッチキューブ）自律改善メソッドの概要解説
2. ワークショップ：自律改善メソッドに基づき、課題抽出～改善検討を体験
3. ワークショップ：改善実践事例を基に、「プロセス改善プロセス」の設計や改良（改善）を討議

講師：

伏見 諭 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）合同会社ソフデラ 代表社員

安達 賢二 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）株式会社HBA 経営管理本部
本部付 エキスパート

阪本 太志 氏（IPA/SEC プロセス改善WG委員）東芝デジタルメディアエンジニア
リング株式会社 ソフトウェアセンター シニアエンジニア

■第12回 ソフトウェア・エンジニアリング・セミナー

～”共通フレーム 2013”及び”GQM+Strategies®”のご紹介～

日 時：平成 23 年 3 月 21 日（木） 13:00～17:20

場 所：一般財団法人関西情報センター

講演 1：「システム／ソフトウェアのライフサイクルプロセスと共通フレーム
～共通フレーム 2013 のご紹介～」

講師：独立行政法人情報処理推進機構 技術本部ソフトウェア・エンジニアリング
センター（IPA/SEC）エンタプライズ系プロジェクト研究員 室谷 隆 氏

講演 2：「組織目標達成と IT 導入の整合性を取るために ～GQM+Strategies®のご紹介～」

講師：独立行政法人情報処理推進機構技術本部ソフトウェア・エンジニアリング
センター（IPA/SEC）エンタプライズ系プロジェクト研究員 平林 大典 氏
独立行政法人情報処理推進機構技術本部ソフトウェア・エンジニアリング
センター（IPA/SEC）戦略意思決定プロセス強化WG委員

（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社） 野村 典文 氏

4. 関西 CIO カンファレンス

全国に比べて関西企業で設置数が少ないと言われる CIO について、関西地域の中堅・中小企業を対象に普及啓発を行い、また関西企業の CIO 間の交流促進を目的とする事業である。平成 24 年度上期は、「経営に資する IT デザイン」をテーマとした関西 CIO カンファレンス、円卓会議及びシンポジウムを開催した。また、関西で活躍する CIO 同士の情報交換・人的交流の促進を図りながら、関西地域における CIO 等の普及などを目的とした関西 CIO ネットワークサロンを 4 回開催した。

（1）関西 CIO カンファレンス 2012—経営に資する IT デザイン—

日 時：平成 24 年 7 月 26 日（木） 10:00～17:00

場 所：リーガロイヤルホテル

参加者：円卓会議 55 名、シンポジウム 92 名

内 容：

①CIO 円卓会議（10:00～12:00）

テーマ「経営戦略と IT 部門のあり方」

コーディネータ：武蔵大学経済学部 教授 松島 桂樹 氏

アドバイザー：株式会社オージス総研 取締役執行役員 宗平 順己 氏

スピーカー：

朝日放送株式会社技術局 情報システム部長 吉田 豊一 氏

株式会社近鉄ホテルシステムズ システム推進部長 今里 英之 氏

株式会社島津製作所 執行役員業務システム統括部長 馬瀬 嘉昭 氏

住友ゴム工業株式会社 IT企画部長 橋高 政秀 氏

株式会社堀場製作所業務改革推進センター

情報技術担当センター長 新井 修 氏

山本精工株式会社 代表取締役副社長 山本 昌作 氏

②シンポジウム（13:00～17:00）

基調講演「中小企業にとっての IT デザイン」

明治大学経営学部 教授 岡田 浩一 氏

研究発表「クラウド導入の課題と効果（e-Kansai レポート 2012 より）」

一般財団法人関西情報センター事業推進グループ 研究員 布施 匡章 氏

事例発表

株式会社モトックス 取締役副社長 寺西 太亮 氏

山本精工株式会社 代表取締役副社長 山本 昌作 氏

宮城大学 事業構想学部 教授 藤原 正樹 氏

パネルディスカッション「クラウドは絶対に必要か？」

コーディネータ：武蔵大学経済学部 教授 松島 桂樹 氏

パネリスト：（上記講演者 4 名）

(2) 関西 CIO ネットワークサロン

■第 3 回

日 時：平成 24 年 5 月 14 日（月） 17:30～20:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：CEO から見た CIO への期待と評価

—企業調査の結果から—

講 師：兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 教授 有馬 昌宏 氏

■第4回

日 時：平成 24 年 9 月 20 日（木） 17:30～20:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：アジャイル開発の最新動向

講 師：東京海上日動システムズ株式会社 経営企画部長 大内 美樹 氏

■第5回

日 時：平成 24 年 11 月 29 日（木） 17:30～20:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：企業文化と IT 部門

講 師：株式会社オラン 代表取締役

大成ロテック株式会社 顧問

木内 里美 氏

■第6回

日 時：平成 25 年 3 月 15 日（金） 17:30～20:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：ソーシャルメディア時代の新しいコミュニケーション

講 師：株式会社ツナグ 代表

佐藤 尚之 氏

(3) 2012 年度 IT 人材育成セミナー

第 1 回 期待される IT 部門の機能と役割

日 時：平成 24 年 12 月 21 日（金） 15:00～17:30

第 2 回 クラウド時代の開発・保守運用

日 時：平成 25 年 1 月 21 日（金） 15:00～17:30

第 3 回 イノベーションを先導する情報戦略・IT 人材育成

日 時：平成 25 年 2 月 22 日（金） 15:00～17:30

講 師：株式会社オージス総研 取締役執行役員 宗平 順己 氏

小島総合研究所 代表 小島 康男 氏

若松経営情報研究所 代表 若松 敏幸 氏

参加者：11 名

II. ビジネス・政策支援事業

1. 情報家電ビジネスパートナーズ (DCP : Digital Concept Partners)

全世界がマーケットとして期待される情報家電などの分野において、中堅・中小・ベンチャー企業・研究機関等が持つアイデアや技術シーズと大手企業が持つ製品開発力を組み合わせ、新たな製品やサービスの開発やライセンスなどのビジネス機会へつなげていくためのプラットフォームを運営した。

■ビジネスシーズ戦略会議

【第12回】

日 時：平成24年7月24日（火）14:00～18:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：次世代通信の現状と最新動向について

講 演1：「機械学習技術の新展開」

講 師：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 所長 上田 修功 氏

講 演2：「アクティブシニアと障がい者（チャレンジド）のためのネットワーク
ロボット技術」

講 師：ATR知能ロボティクス研究所 所長 萩田 紀博 氏

【第13回】

日 時：平成24年10月17日（水）12:30～17:00

場 所：Spring-8/SACLA（兵庫県佐用郡佐用町1丁目1-1）

テーマ：Spring-8/SACLA 施設見学

【第14回】

日 時：平成24年12月20日（木）14:00～18:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：スマートヘルスケア社会実現に向けた最新のデジタル技術・ビジネス動向

講 演1：「スマートヘルスケア実現に向けたシステム集積化実装技術」

講 師：大阪大学大学院 情報科学研究科 情報システム工学専攻 教授 尾上 孝雄 氏

講 演2：「デジタルヘルスを産業に」

講 師：日経BP社 日経エレクトロニクス編集 記者 小谷 卓也 氏

【第15回】

日 時：平成25年2月13日（水）14:00～18:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

講 演1：「先端技術と震災復興」

講 師：東北大学大学院 工学研究科 情報知能システム（IIS）研究センター

特任教授 舘田 あゆみ 氏

講 演2：「スマートビジネスの最新動向」

講 師：株式会社 NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティング本部

本部長 パートナー 村岡 元司 氏

■ビジネス・フォーラム

【長野県テクノ財団・DCPビジネスフォーラム】

長野県テクノ財団とのコラボレーションフォーラムとして実施し、長野県諏訪地方での「DTF研究会」についての取り組みをご紹介頂くとともに、次世代エレクトロニクス機器やエネルギー・環境機器・医療機器等に応用が期待できる微細・精密加工技術及び製品を有する企業4社がプレゼンテーションを行った。

日 時：平成24年9月27日（木）15:00～18:30

場 所：ハービス ENT オフィスタワー会議室

発表企業：株式会社平出精密、野村ユニソングループ、高島産業株式会社、
マイクロストーン株式会社

【DCPビジネスフォーラム in 京都】

京都商工会議所とのコラボレーションフォーラム（DCPビジネスフォーラム in 京都）を実施し、京都での「試作産業」についての取り組みをご紹介頂くとともに、素晴らしい技術及び製品を保有する企業3社がプレゼンテーションを行った。

京都商工会議所では、2010年から「京商ビジョン2ndStage」に入り、知恵ビジネスの更なる広がりを目指している。今回は、こうした京都商工会議所と共催でDCPフォーラムを実施する事により、京都で自社の強みと知恵を活かして事業を営む中小企業とDCPメンバー企業・サポート企業間での協創型知恵ビジネスの誘発を図った。

主 催：一般財団法人関西情報センター 大阪商工会議所、京都商工会議所

協 力：公益財団法人京都産業21、財団法人京都高度技術研究所

日 時：平成25年3月13日（水）15:00～18:30

場 所：京都商工会議所

内 容：（事例紹介）

京都での「試作産業の取り組み」紹介 京都試作センター株式会社
三和化工株式会社 他2社

2. 個人情報保護関連人材の育成

個人情報保護の普及啓発と質の高い審査員養成を目指し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）のプライバシーマーク指定研修機関として認定を受け、プライバシーマーク審査員研修を実施している。平成24年度上期は、審査員補養成研修を2回（7/13～7/17、11/23～11/27）、フォローアップ研修を5回（5/16、6/9、6/21、11/14、11/22）実施した。

また、近年、個人情報保護対策の強化、情報セキュリティ対策は、各企業にとって喫緊の課題となっているため、個人情報保護や情報セキュリティに関する最新動向等についての理解を深め、関心を持ってもらうため、広く一般向けに「企業の個人情報保護リスク管理セミナー」を実施（2/21）した。

3. ICT ビジネスソリューションセミナー

最新の ICT をテーマとして、有識者等による情報提供に加え、協賛企業による具体的な製品やサービスの利活用によるソリューション提案も行うセミナーを開催した。

■行政情報化の最新動向セミナー ～ 今後の情報化のポイント ～

日 時：平成 24 年 7 月 25 日（水）13:30～16:30

場 所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）会議室

主 催：一般財団法人 関西情報センター

協 賛：日本オラクル株式会社、日本電気株式会社

参加者：64 名（定員 50 名）

講 演 1：「マイナンバー制度の最新動向」

講 師：内閣官房情報通信技術（IT）担当室 主幹 早田 吉伸 氏

講 演 2：「最新システムを利用したホストからの税システムオープン化事例」

講 師：東大阪市税務部市民税課 課長 山口 幸嗣 氏

講 演 3：「行政情報化のコスト削減事例と成功のポイント」

講 師：日本オラクル株式会社

公共営業統括本部ビジネス推進部 行政担当ディレクター 木村 毅 氏

■うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」のご紹介

～世界に類をみない「知」の大空間が大阪に～

日 時：平成 24 年 12 月 21 日（金）10:00-12:00

場 所：梅田スカイビル タワーイースト

協 賛：株式会社KMO、一般社団法人ナレッジキャピタル

参加者：52 名（講師、スタッフ関係者除く）

プログラム：

施設見学 「うめきたグランフロント大阪に関するビデオ映像及びプロジェクト模型」

案内人：棚倉 進 氏（一般社団法人ナレッジキャピタル シニアマネージャー）

基調講演 「ロボット技術で新産業創出」

講 師：玉井 博文 氏（マッスル株式会社 代表取締役）

講 演 「ナレッジキャピタルの説明」

講 師：高橋 豊典 氏（一般社団法人ナレッジキャピタル 事業統括部長）

講 師：野村 卓也 氏（一般社団法人ナレッジキャピタル 総合プロデューサー）

■「情報セキュリティ戦略」セミナー

～標的型攻撃の脅威から組織を守るために～

日 時：平成 25 年 3 月 6 日（水）14:30-17:30

場 所：ラマダホテル大阪

協 賛：デル株式会社、インテル株式会社

基調講演：「情報セキュリティを取り巻く環境の変化」

講 師：大阪市立大学名誉教授 中野 秀男 氏

講演 1：「柔軟な働き方を支えるハードウェア・ベースのセキュリティ」とは？

講 師：インテル株式会社 クラウド・コンピューティング事業部 坂本 尊志 氏

講演 2：「既存の対策で本当に大丈夫？」～まずは現状把握から～

講 師：デル株式会社 マーケティング統括本部

シニア・マネージャ 古川 勝也氏

参加者：73名

4. e-相談所

IT 利活用による中小企業等の経営改善促進を図るため、金融機関 8 行他合計 30 団体から成る中小ユーザ IT ユーザ利活用研究会を組成し、IT 利活用を促すための方策等を検討した。

また、中小ユーザ IT 利活用研究会では、昨年度作成した「IT 経営ガイド」を基に、平成 24 年度は IT 化案件の創出プロセス等を加えた「IT 経営ガイド(改訂版)を作成した。

■第 1 回研究会

日 時：平成 24 年 7 月 27 日（金） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

議事概要：○研究会概要説明

○IT 経営ガイドブック改訂版について

○各種専門家派遣事業の活用及び e 相談所の活用について

○IT 化案件のフォローアップについて

○今後の予定

■第 2 回研究会

日 時：平成 24 年 10 月 11 日（木） 15:00～16:30

場 所：一般財団法人関西情報センター

議事概要：○研究会概要説明

○IT 経営ガイドブック改訂版について

○説明会の開催状況について（紀陽銀行）

○IT 化案件の進捗状況について

○今後の予定

■第 3 回研究会

日 時：平成 24 年 12 月 19 日（水） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター 第一会議室

議事概要：○研究会報告書（案）について

5. テクニカルライターの会

モバイル機器やネットワーク接続家電製品に代表される高機能な家電製品の増加や高齢化社会の進展に伴い、利用者にわかりやすい取扱説明書や WEB マニュアルなどを提供することの重要性が高まっている。平成 24 年度上期は、マニュアル制作に関する技術や、テクニカルコミュニケーションを取り巻く最新動向等の情報交換を図るべく、3 回の定例会を実施した。

■第 1 回定例会

日 時：平成 24 年 6 月 27 日（水） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：Adobe Creative Suite 6 の新機能と制作ワークフロー

講 師：アドビシステムズ株式会社デスクトップ製品事業部

ビジネスデベロップメントマネジャー 近藤 祐爾 氏

■第 2 回定例会

日 時：平成 24 年 7 月 26 日（木） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：専門家と社会をつなぐ～サイエンスコミュニケーションの取り組み

講 師：大阪大学大学院文学研究科 准教授

中村 征樹 氏

■第 3 回定例会

日 時：平成 24 年 9 月 12 日（水） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：日本人の知らない、日本語のしくみ

講 師：千葉大学国際教育センター 非常勤講師

清水 由美 氏

■第 4 回定例会

日 時：平成 24 年 10 月 26 日（金） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：国語科教科書に見る説明・指示の学習

講 師：日本体育大学 女子短期大学部 教授

奥泉 香 氏

■第 5 回定例会

日 時：平成 24 年 12 月 7 日（金） 15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：見やすい、分りやすい マニュアルのために～レイアウトやフォントの工夫

講 師：株式会社スタジオノイエ 代表取締役

吉田 順年 氏

■第6回定例会

日 時：平成25年1月30日（水）15:00～17:00

場 所：一般財団法人関西情報センター

テーマ：学習支援研究に基づく高齢者へのテキストデザイン

講 師：立命館大学 文学部 教授

山本 博樹 氏

■フォーラム2013

日 時：平成25年3月21日（木）13:00～17:00

場 所：中央電気倶楽部

テーマ：テキストからビジュアルへ～技術情報にとっての形と色

講 師：京都外国語大学 非常勤講師

森口 稔 氏

株式会社テクノアート

川内 雄史 氏

株式会社クリエイト

西村 幸祐 氏

フォルトゥナ

坂本 邦夫 氏

6. ワンストップサービス支援

関西手続きワンストップ協議会（会長：岸野文郎関西学院大学教授）の事務局を運営するとともに、協議会が運営する関西引越し手続きサービスのシステム運用を行った。協議会では、6月に総会を開催し、今年度の事業計画等を策定した。引越し手続きのサービス利用に関しては、4月から1月の間で1ヶ月6,000人程度、引越しシーズンとなる2月は、約10,000人、3月には14,000人の利用があった。

7. 地方シンクタンク協議会

全国のシンクタンク（64機関）で組織する地方シンクタンク協議会の運営に関し、事務局として各種交流活動等の事業を円滑に遂行するとともに、地域からの情報発信や地域間交流の促進を図った。

■第25回地方シンクタンクフォーラム

「人口減少・超高齢化時代の地域経営 ～適性規模化への“賢い縮小”という視点～」

日 時：平成24年6月22日（金）13:00～16:45

場 所：メルパルク長野

主 催：地方シンクタンク協議会

後 援：総務省、国土交通省、長野県、長野市、飯田市、泰阜村、

（公財）総合研究開発機構、信濃毎日新聞社

協 力：特定非営利活動法人SCOP

参加者：152名

内 容：問題提起「いまなぜ“賢い縮小”を考えるのか？」

特定非営利活動法人SCOP 理事 鷲見 真一氏

基調講演「持続可能な国土・都市構造への転換戦略」

名古屋大学大学院環境学研究科 教授 林 良嗣 氏

特別講演「過疎地域からはじまる戦略的再編」

横浜国立大学大学院環境情報研究院 産学連携研究員 林 直樹 氏

パネルディスカッション「人口減少・超高齢化時代の地域経営」

パネラー：長野県知事 阿部 守一 氏

飯田市長 牧野 光朗 氏

泰阜村 松島 貞治 氏

名古屋大学大学院環境学研究科 教授 林 良嗣 氏

横浜国立大学大学院環境情報研究院

産学連携研究員 林 直樹 氏

コメンテータ：総務省自治行政局過疎対策室 室長 山口 祥義 氏

国土交通省都市局都市政策課

都市再生政策調整官 本田 武志 氏

コーディネータ：特定非営利活動法人SCOP 理事 鷺見 真一 氏

■第11回経営者会議（第33回東北・関東ブロック研修交流会と共催）

日 時：平成24年11月30日（金）13:30～18:00

場 所：ホテルメトロポリタン仙台

主 催：地方シンクタンク協議会

協 力：公益財団法人東北活性化研究センター

テーマ：「東北の復興に学び減災を考える」

参加者：38名

<視察見学会>

日 時：平成24年12月1日（土）8:00～14:00

場 所：石巻・女川方面

内 容：語り部ガイドによる説明、仮設商店街等の視察、バスからの市街地見学

参加者：28名

8. 各種受託調査・研究事業

1) 仕事と生活の調和に関する原稿作成業務

内閣府が発行するメールマガジン「カエル！ ジャパン通信」を通じて、企業における仕事と生活の調和（以下、ワーク・ライフ・バランス）を推進する上で、またワーク・ライフ・バランスを企業の経営戦略として取組む上で参考となる情報を提供するため、ワーク・ライフ・バランスに関する調査研究を実施し、それに基づくメールマガジン原稿の作成を行っている。

2) 現代版井戸端会議研究会支援業務

大手前大学現代社会学部 畑 耕治郎 准教授を研究代表者として実施する学術研究助成基金助成金研究「地域主権時代における現代版井戸端会議導入によるコミュニティマネジメントの実証研究」に対し、研究協力者として参画した。本研究は地域 SNS 等ソーシャル・メディアを題材に、地域活性化のための情報通信技術（ICT）利活用手法や地域のマネジメント（コミュニティ・マネジメント）への寄与等について評価することを目的としている。3年間の研究における初年度の活動として、情報収集及び学会発表を行った。

9. 国・自治体・企業等における産業振興プロジェクトの受託

1) クラウドの利活用推進のための自立的なネットワーク形成と新たなビジネスモデルの構築に関する調査等

委託元「特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会」

関西クラウド研究会では、SaaS を連携して新たなシステムを構築するために、関西地域の中小ベンダが所有する SaaS 等ソリューションについてアンケート調査を実施した。さらに、平成 24 年 11 月 8 日（木）に新たなシステム構築を望む IT ベンダを集めた「ベンダ連携交流会」（参加者 31 名）を開催し、ヘルスケア分野をモデルとした SaaS 連携について検討した。

中小ユーザ IT 利活用研究会では、「IT 経営ガイド」を作成し、金融機関に 2,400 部配布し、ユーザ企業における経営相談の中から IT 化で解決できる案件の発掘を行った。さらに、ユーザ企業の IT 導入までの各種支援制度の活用についても検討した。

2) 情報家電系組込み産業振興ネットワーク活性化事業

関西地域においてポテンシャルのある「次世代電子技術・エネルギーシステム産業」分野、特に「組込みシステム」産業において、大企業や中堅・中小・ベンチャー企業、研究機関や各種支援機関等のさらなるネットワーク化を促進し、当該分野における活性化を推進する事業を実施した。今後の有望分野として「ヘルスケア」を取り上げ、同分野における新事業創出、新規受発注を促進する活動を推進した。

<主な事業>

■組込み総合技術展 ET2012「関西パビリオン」におけるマッチングイベント

日 程：平成 24 年 11 月 14 日（水）～16 日（金）（会期 3 日間）

場 所：パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

出展企業：企業 14 社及び関連団体等 5 団体

■組込み産業活性化フォーラム in Kansai

日 時：平成 25 年 2 月 15 日（金） 13:00～17:30（交流会 17:30～）

場 所：大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

参加者：154 名

プログラム：

来賓挨拶：経済産業副大臣 菅原 一秀 氏

基調講演：組込みシステム産業を取り巻く現状とパナソニックの取り組み

講師：パナソニック株式会社 R&D本部 全社C T O室

理事・システムエンジニアリング室長 和田 浩美 氏

技術講演：医療・ヘルスケア分野における最新組込みシステム技術と

ハイブリッド医工学創成

講師：大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻教授 今井 正治 氏

パネルディスカッション：世界の産業地図を変える、関西組込みシステムの底力

～関西経済復活のカギ～

パネリスト：大阪府商工労働部 商工総務課

大阪産業経済リサーチセンター 主任研究員 松下 隆 氏

公立大学法人大阪府立大学

理事 兼 学術情報センター長 今井 良彦 氏

スキルインフォメーションズ株式会社

代表取締役社長 杉本 浩 氏

株式会社プロアシスト 代表取締役社長 生駒 京子 氏

コーディネータ：一般財団法人関西情報センター 理事 竹中 篤

■組込みシステムコア技術及びビジネスモデルに関する研究会

特に「ヘルスケア」分野に注目し、組込みシステム分野において必要となるコア技術や事業アライアンスの方向性等について検討する企業グループが推進する研究会を支援した。

3) 中小ものづくり集積地における I T利活用促進と中小ベンダのクラウド等展開に係る調査

受託元：近畿経済産業局

関西地域の中小ものづくり集積地である東大阪地域を対象として、中小製造業における I T利活用の現状や SaaS 利活用に対する課題、要望等についてヒアリング (30 社) 及びアンケート (43 社) 調査を行った。さらに、中小 I T ベンダにおけるクラウドビジネスの現状及び課題等についてもヒアリング (30 社) を行い、中小製造業における I T 利活用の促進方策について検討した。

その結果、中小企業における I T 化の意識の階層別に I T 化の推進方策 (階層別セミナー、総合型生産管理システム導入支援、データセンター利用促進支援等) を検討・提案した。

10. 災害情報共有システム事業

1) 「ICTを活用した防災・減災」をテーマにした街づくりシンポジウム

「南海トラフ巨大地震への備え」～関西「災害情報共有システムの整備」に向けて～

日 時：平成24年12月6日（木）13:00～17:40

場 所：追手門学院大阪城スクエア

参加者：185名

内 容：

基調講演「大規模自然災害への備えと復興・復旧への官民の役割」

関西大学社会安全学部長／人と防災未来センター長

／東日本大震災復興構想会議委員 河田 恵昭 氏

特別講演「巨大災害におけるICTの効果的な活用について」

新潟大学危機管理室教授／中央防災会議委員 田村 圭子 氏

事例報告「空撮による災害情報収集の現状と今後の課題」

朝日航洋株式会社 西日本航空支社長 庄島 広孝 氏

パネルディスカッション

「国や自治体の危機管理及び企業のBCPにおけるICTの担う役割とは」

コーディネーター

リスク対策.com 編集長 中澤 幸介 氏

パネリスト

朝日航洋株式会社 西日本航空支社長 庄島 広孝 氏

大阪瓦斯株式会社 中央保安指令部長 安木 英二 氏

近畿地方整備局 企画部 情報通信技術調整官 玉置 文志 氏

住友電気工業株式会社 情報システム部長 奈良橋 三郎 氏

西日本電信電話株式会社 サービスマネジメント部 サービス戦略部門長

上原 一郎 氏

2) 「災害情報共有システム」研究会

第1回

日 時：平成25年1月29日（水）14:00～17:00

場 所：ティーオージー貸会議室 1号室

内 容：課題提起「過去の震災の教訓と西日本大震災への備え」

～欠かせない「危機管理の標準化」と「情報共有」～

京都大学防災研究所巨大災害研究センター 教授 林 春男 氏

参加者：35名

第2回

日 時：平成25年3月27日（水）14:00～17:00

場 所：ティーオージー貸会議室 1号室

内 容：「災害情報共有システムのデモンストレーション」
静的情報の整備と動的情報への活用「Geo-Potal」
京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 助教 鈴木 進吾 氏
「災害情報共有ツール WebEOC」
NTT ラーニングシステム株式会社
インタラクティブコミュニケーション事業部 課長 佐久間 秀一 氏

Ⅲ. 情報ネットワーク関連事業

1. 情報セキュリティシステム構築支援事業（セキュアサポートサービス）

セキュアサポートサービスの一つである「パスワード共有サービス」の開発を行い、Web型サービスの提供を行った。また、より利便性の高いゲートウェイ型のサービスの開発を行った。

他方、セキュアなファイル配布システムである SX（セキュアエクスチェンジ）の開発に着手し、健保組合向けへのサービス提供を開始した。

2. 施設予約システム ASP 事業(ESPAL/OPAS)

文化施設、スポーツシステムを対象とする施設予約システム ESPAL は、豊中市、箕面市、尼崎市、伊丹市、川西市、三木市に対し、安定したサービス提供を行った。また、大阪府下自治体のスポーツ施設予約システムである OPAS は、既存の 16 団体（大阪府、堺市、豊中市、高槻市、茨木市、箕面市、池田市、吹田市、寝屋川市、東大阪市、和泉市、高石市、岸和田市、大阪狭山市、河内長野市、熊取町）に対し、安定サービスを提供した。さらに、平成 25 年 2 月に新たに大阪市へのサービスの提供を開始した。

3. ネットワーク基盤整備支援事業

大阪府の公募公債の入札システムのサービスを安定して提供した。

Ⅳ. 社会システム支援事業

<社会保健・福祉サービスソリューション>

1. 健康保険組合のシステム開発・運用事業

健康保険組合約 80 組合に対して、適用・徴収などの基本的な事務処理を支援するシステムの提供や運用支援及び、法改正に伴うシステムの機能拡張等の対応を実施した。

また、近畿地域の健康保険組合を対象に、懇話会（6 月開催）を通じた各種情報提供や健康保険組合事業に関する研究会活動（総合健康マネジメントシステム操作説明会を 4 回実施）、パソコン OA 講習会（6 月、9 月開催）などリテラシー向上のための活動を行った。

さらに、組合と事業所間での安全なデータ授受サービス「Secure Express」を開始した（12 月）。

2. インターネットサービス事業

健康保険組合や病院等（52 ユーザー）を対象としたホームページの構築・運用や Web 医療費通知をはじめとする ASP サービスを実施した。

また、健康保険組合向けのインターネットを活用したサービスとして、基幹システム運用基盤のホスティング事業の開始（6 月）や組合と事業所間での安全なデータ授受サービス等も開始した。また B C P（事業継続計画）の観点から、より災害対策がなされた D C（データセンター）へのサーバ移転を実施した。

3. 総合健康管理ソリューションの開発・提供事業

職域を中心とした健康づくり支援に向けて、健康保険組合および企業（40 ユーザー）を対象とした「健康管理指導支援システム」と特定健診・特定保健指導の支援を目的とした「生活習慣病リスクマーカーシステム」の提供・運用を健康保険組合（120 ユーザー）向けに実施している。特に関西地区の数組合に対して当該システムを軸とした総合的な組合・企業の健康管理システムを提案中である。

また、「生活習慣病リスクマーカー」については平成 2 5 年度の特定健康診査保健指導の制度見直しを視野に入れた機能強化を実施している。

さらには、レセプトの情報や各種健診の結果に止まらずメンタルや就労の情報など様々な情報を基にして、メンタルヘルスや過重労働対策をも意識した“保健事業の効果分析や事業評価”を可能とした「総合健康マネジメントシステム（第 1 期）」を 2 組合（合計 10 組合）に導入した。

<企業・団体向けシステム開発ソリューション>

4. 各種システム開発ソリューション

「土地取引関連調査」に関わる運用処理業務及び情報支援、データの安全管理支援を、近畿地域の 1 自治体に対して実施している。

V. 情報化社会基盤整備事業

1. プライバシーマークの審査、認定

個人情報保護の推進を目的とし、プライバシーマーク指定審査機関として、平成 1 8 年度から開始したプライバシーマーク付与認定の審査・認定業務を平成 2 4 年度も継続して実施した。（対象は、近畿地区 2 府 4 県と福井県に本社のある事業者）。

全体的には、プライバシーマーク利用の有効事業者は当制度の認知度が進んだ事等で更に増加している。

当財団に於いては、受付及び認定件数で前年度実績を少し下回ったが、現地審査件数は、前年度実績以上を実施出来た。ただ、受付で新規の申請件数が低調なのは、気掛りな点である。今後 更に当制度の普及・P Rを図っていきたい。

平成24年度の実績： 受付 757件（新規 98件・更新 659件）
審査 797件（新規 110件・更新 687件）
認定 786件（新規 108件・更新 678件）

VI. 特定寄付

公益目的支出計画に基づき、平成24年8月に大阪府及び大阪市に対し各々5千万円の特定寄付を実施した。

VII. 広報・交流活動事業

1. 機関誌「KIIS」の刊行

機関誌 145号 平成24年10月発行

特集 「スマートヘルスケア」

配布先 賛助会員 等

機関紙 146号 平成25年1月発行

特集 「情報セキュリティ人材の育成について」

配布先 賛助会員 等

2. KIIS フォーラム（事業成果報告会）

開催日 平成24年7月10日開催

会場 ヒルトンプラザ ウェスト・オフィスタワー8階

内容

第一部 KICT 事業から「スマートヘルスケア」

【特別報告】「スマートヘルスケアの展望」

株式会社新産業文化創出研究所 代表取締役所長 廣常 啓一 氏

第二部 ビジネス・政策支援事業から

【特別講演】「情報政策関連分野における施策の動向」

近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課長 山口 洋 氏

「次世代高信頼・省エネ型 IT 基盤技術開発・実証事業

－関西クラウド構想への期待－

事業推進グループ リーダー 西田 佳弘

NPO 法人日本情報技術取引所関西支部長 石丸 博士 氏

「情報家電系組み込み産業振興ネットワーク活性化事業及び関西新エネルギー

ビジネス創出ネットワーク事業について」

事業推進グループ 主任研究員 石橋 裕基

第三部 調査研究事業、情報化推進事業から

「e-Kansai レポート 2012」

事業推進グループ 研究員

布施 匡章

「セキュアサポートサービスについて」

情報化推進グループ チームリーダー

芝原 努

株式会社ギデオン 代表取締役社長

西尾 高幸 氏

「関西 CIO カンファレンス」

事業推進グループ マネジャー

三坂 勝弘

参加者 90 名

3. 新春合同賀詞交歓会

開催日 平成 25 年 1 月 18 日

場 所 ウェスティンホテル大阪 4 階 花梨

内 容 特別講演会 「経済産業省の情報政策について」

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長 江口 純一 氏

賀詞交歓会 (2 階オリアーナ)

126 名参加

4. KIIS メールマガジン、ホームページ

当財団のイベントや関連団体などの情報をメールマガジン、財団ホームページ、「きりんず」において配信した。また、facebook においてもイベント情報の提供を開始した。

以 上